

12月定例会 質疑

復興への具体策と 将来につなげる町づくりを要望

12月定例会の質疑では、今後の復興への考え方や、中学生海外研修に対する具体策など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。そのなかの一部をご紹介します。



3年ぶりに再開したみかん狩り

町長給与削減は理解できない

坂本紀一議員 財政難
を理由に町長給与を削減することは理解できません。

給与を下げたから良いというものではなく、その分、責任をもって一生懸命仕事に取り組みべきです。

遠藤町長 町民が耐え

難い苦しみにはいながらも、前町長と同様に町民の痛みを分かち合うことを継承していきたいと思っています。職務に全力を尽くします。



復興へ取り組む行政

中学生海外研修は来年度から実施するのか

坂本紀一議員 新年度
から中学校海外研修を実施するということですか。

また、研修方法はどうようなものですか。
平成26年度から実施に向けて検討していますが、詳細は議員はじめ保護者の皆さまと協議をしながら進めなければならぬと思います。



調理実習にはげむ中学生

設計単価上昇を理由とする変更契約の考えとは

黒田政徳議員 一般競
争入札で決めた契約で、25年度の設計単価が上昇したからといって、労務費単価をあげる変更契約とはどのような考え方ですか。

松本建設課長 今回の場合は、24年度に設計を組んで発注し、25年度末に終わる計画ですが、物価が上がった場合には、約款に基づいて労務費・資材等を現在の価格に上げるよう国から通知されています。その手続きにそった変更契約です。



資材単価や労務単価が上昇



利用者が乗降しやすいようにステップが設置してあるバス

町民バスを低床式バスへ切り替えよ

畑中太子議員 町民バ
スを、乗り口が低床式のコミュニティバスに切り替えたほうがいいと思います。方針はでていますか。

青木総務課長 今後、バスの交換があれば、足の不自由な方でもできるだけ乗りやすいバスにしていきたいと思っています。



下原地区砂利採取場跡地

町は経過を知っていたのか

小磯利雄議員 折木下
原地区の砂利採取場跡地で夏に構築物工事が始まり、ほぼ完成に近づいています。

栃木県のある会社を通じて15万5000㎡の土地所有権が当時の地主から民間の会社に移転しています。この経過を町は知っていましたか。

中津企画グループリーダー
当該地区は砂利採取法に基づく手続きを経なければ、開発行為ができないと認識しています。そして、国土法における土地取引が事後報告になっているため町に情報が入ってきませんでした。議員からの話で初めて承知したということです。現在、県に照会をかけ、確認している状況です。